

悪い奴ほどよく眠る

観賞日 2021年12月27日

【概要】

製作 1960年 上映時間 150分
監督 黒澤明
脚本 小国英雄、久坂栄二郎、黒澤明、菊島隆三、橋本忍
音楽 佐藤勝
撮影 逢沢譲
出演 三船敏郎（西幸一）、森雅之（岩淵副総裁）
香川京子（岩淵佳子）、三橋達也（岩淵辰夫）
志村喬（守山管理部長）、西村晃（白井契約課長）
藤原釜足（和田課長補佐）、加藤武（板倉）



【あらすじ】

西幸一と岩淵佳子の結婚披露宴会場。新郎は日本未利用土地開発公団副総裁岩淵の秘書。新婦はその岩淵の娘。披露宴を取り仕切るのは公団の守山管理部長、白井契約課長、和田課長補佐。岩淵、守山、白井ラインは5年前に庁舎新築に絡む不正入札事件の当事者で、その事件は部下の古谷課長補佐の自殺で幕が下りた。現在、公団と大竜建設との不正入札問題が表面化して、披露宴の場で和田課長補佐が逮捕されるという事件が起きた。この事件で大竜建設の重役が自殺、公団の和田補佐も自殺を試みるがすんでのところ西に助けられる。和田は西に連れられて自分の葬式を見て守山、白井の本音を聞き憤慨する。収賄で手に入れた隠し金を着服したと疑われた白井は死んだはずの和田の姿を見て発狂寸前になる。この頃になって、連続して起きる奇妙な出来事の原因が古谷にあると気付いた岩淵と守山は古谷の身内を再調査し、古谷の息子の存在を知り驚愕する。素性がばれた西は仲間の板倉と復讐の仕上げをしようとするが、その前に居場所を突きとめられて・・・。

黒澤プロの第1回作品で娯楽映画の決定版。黒澤明が政財官の汚職に真っ向から斬り込んだ社会派作品。

【解説】

■ポイント

●政官財の癒着構造

政と官：政治家は官僚を手足のように使い、官僚は政治家に省益にかなう立法を依頼する。

官と財：官僚は業界の監督官庁として業界を指導し、業界に天下りの受け入れを依頼する。

財と政：政治家は産業界に都合の良い法律を作り、産業界は政治家に献金や選挙応援をする。

三者は持ちつ持たれつの関係にあり、本作制作当時の自民党長期政権下では、特に問題視されていた。

■見どころ

●スリリングな滑り出し

結婚式という人が集まる儀式から始まり、出席している主要な登場人物が次々と紹介される。

「ゴッドファーザー」でも真似られた手法

●ラストの悲劇的結末

私怨から巨悪に立ち向かう主人公が強大な権力の前に虫けらのように抹殺される悲劇的結末。

本当の黒幕が最後まで表に現れない迫力とリアル感。